

★散在するメモや仕様情報から、伝わる技術文書を効率よく作る！

★AIが作った文書の誤りや曖昧さを、どう見抜き、修正するか？ レビューの演習を通じて、文書の品質を高める

セミナーNo.611118

生成AIを活用した

テクニカルライティングの実践

～技術情報を効率的に作成し、価値を高める文書作成術～

Live配信
または
アーカイブ配信

●日 時：2026年11月27日(金) 13:30～16:30

●聴講料：1名につき 49,500円（消費税込、資料付）

●会 場：Zoomを使用したLive配信

〔1社2名以上同時申込の場合のみ 1 名につき44,000円（税込）〕

※アーカイブ配信は12/8～12/18に実施

〔大学、公的機関、医療機関の方には割引制度（アカデミック価格）があります。〕

●講師：(株)ハーティネス 代表取締役 高橋 慈子 氏

【講座主旨】本研修の目的は、エンジニアが直面する「技術文書作成の負担」を生成AIの戦略的活用によって劇的に軽減し、同時にドキュメントの品質を向上させることです。近年、生成AIは強力な業務アシスタントへと進化していますが、現場では「AIがもっともらしく出力した技術的な誤り（ハルシネーション）」が新たな混乱を招くケースも散見されます。AIは魔法の杖ではなく、適切な指示を与え、最終的な品質を担保する人間側のディレクション能力が不可欠です。

本プログラムでは、中堅エンジニアを対象に、テクニカルライティングの原則に基づく「AIを正確に動かすプロンプト設計」と「AIの出力を検証するレビュー技術」を習得します。

最大の特徴は、実務直結型の2つの実践演習です。前半は、雑多な打ち合わせメモからAIを用いて瞬時に構造化された概要文を生成する演習。後半は、不完全な手順書をAIに修正させ、独自のチェックリストでプロンプトをチューニングする実践的な検証作業を行います。

これにより、受講者は「執筆者」から「AIのディレクター」へと役割をアップデートし、明日から現場で使える安全で効率的なドキュメント作成術を体得します。

【講座内容】

1. 生成AI活用の現在地とテクニカルライティング

・生成AIによる文書作成のメリットと限界、留意点

・技術者の役割の変化

2. テクニカルライティングの原則とプロンプト設計

・技術文書の3要素（正確性・明確性・簡潔性）

・プロンプトの基本構造

精度を高めるためのコツ

3. 【演習①】非構造化情報からの概要文作成

・打ち合わせメモや仕様データからの概要文作成

・AIを活用した情報の整理・構造化とプロンプト調整

4. 【演習②】手順書のAIレビューと検証

・記載漏れや曖昧さを含む手順書の修正・補強

・レビュー基準（チェックリスト）を組み込んだ

AIプロンプトの実装

5. まとめと振り返り、質疑応答

【質疑応答】

◆◆講師プロフィール◆◆◆◆

専門分野： テクニカルコミュニケーション、ドキュメントコミュニケーション

略歴・活動・著書など：

1988年テクニカルコミュニケーションの専門会社「株式会社ハーティネス」を設立。

マニュアルの制作、コンサルティング、人材育成の企画、実施に関わる。 慶應義塾大学 非常勤講師、

情報処理学会 ドキュメントコミュニケーション研究会 幹事、一般社団法人人間中心社会共創機構 理事

『技術者のためのテクニカルライティング入門講座 第2版』2024年、翔泳社

『情報と職業 IT社会のキャリア・リテラシー』（共著）2026年、技術評論社

●申込方法

1. 申込書が届き次第、請求書・聴講券・会場案内図をお送りいたします。

2. お申し込み後はキャンセルできません。

受講料は返金いたしませんので、ご都合の悪い場合は代理の方がご出席ください。

「生成AIテクニカルライティング」セミナー申込書

(Live配信/アーカイブ配信 下記のいずれかに☑を入れてください)

☐ Live配信

(No.611118)

開催日：11／27

☐ アーカイブ配信

(No.612162)

配信期間：12／8～12／18

・申込書に必要事項をご記入の上、FAX (03-5436-7745) にてお申込みください。

・ホームページからも申込できます。https://www.gijutu.co.jp/

会社名			
住所	〒		
TEL		携帯電話	
	所属部課	氏名(フリガナ)	E-mail
受講者1			
受講者2			
今後ご希望しない案内方法に×印をしてください(現在案内が届いている方も再度ご指示ください)			
〔 郵送(宅配便) ・ ショートメッセージ(携帯電話) ・ e-mail 〕			
個人情報の利用目的			
・セミナーの受付、事務処理、アフターサービスのため			
・今後の新商品、新サービスに関するご案内のため			
・セミナー開催、運営のため講師へもお知らせいたします			

3. 申込み人数が開催人数に満たない場合等、状況により中止させて頂く場合がございます。

4. 定員になり次第、申込みは締切となります